

東北大学ゲートウェイカレッジ 入学者選抜 FAQ

- ✓ 本内容は、**2025 年 10 月 22 日**現在の情報であり、今後変更になる可能性があります。
- ✓ 正確な情報は、必ずゲートウェイカレッジウェブサイト
(<https://tu-gwc.tohoku.ac.jp/>) や **2026 年 6 月**公表予定の「令和 9 年度入
学者選抜要項」で確認してください。

目次：

1. 基本情報

- 1-Q1：ゲートウェイカレッジとは何ですか？ 3
- 1-Q2：ゲートウェイカレッジは学部ではなく特別教育プログラムと
のことですが、特別教育プログラムとは学部と何が異なっ
ているのですか？ 3
- 1-Q3：なぜ新しい学士課程プログラムを作るのですか？ 4
- 1-Q4：4 月入学と 10 月入学の違いは何ですか？ 4
- 1-Q5：3 年次以降に各学部にも所属するとのことですが、3 年次以降
は各学部の学生と一緒に学ぶことになるのですか？ 4

2. 募集人員・定員

- 2-Q1：募集人員は何名ですか？ 5
- 2-Q2：大学全体の入学定員は増えるのですか？ 5
- 2-Q3：文系・理系などで募集人数はどのようになるのですか？ 5

3. 出願資格・要件

- 3-Q1：出願資格はどのようなものですか？ 5
- 3-Q2：国籍による制限はありますか？ 6
- 3-Q3：学業成績の要件はありますか？ 6
- 3-Q4：英語能力の要件はありますか？ 6
- 3-Q5：10 月入学で日本語能力は必要ですか？ 6

4. 選抜方法

- 4-Q1：募集は学部ごとに行われますか？ 7
- 4-Q2：選抜方法はどのようなものですか？ 7
- 4-Q3：4 月入学の筆記試験の内容はどのようなものですか？ 7
- 4-Q4：出願書類にはどのようなものが必要ですか？ 7
- 4-Q5：面接試験ではどのようなことが評価されますか？ 7

5. 選抜スケジュール

- 5-Q1：選抜はいつ行われますか？ 8

6. 併願について	
6-Q1：東北大学の他の入学者選抜と併願できますか？	8
6-Q2：4月入学と10月入学の両方に出願できますか？	8
6-Q3：他大学との併願は可能ですか？	8
7. 入学前教育について	
7-Q1：入学前教育とは何をするのですか？	9
7-Q2：入学前教育は必須ですか？	9
7-Q3：遠方なのですが、入学前教育を受講するのに東北大学に来る必要はありますか？	9
8. 入学後の学修について	
8-Q1：入学後はどのように学びますか？	9
8-Q2：各学部に入れる人はどのように決まるのですか？	10
8-Q3：入学後の専門分野はどのように決まりますか？また、各学部には何人ずつ行けるのですか？	10
8-Q4：医学部・歯学部での学びは可能ですか？	11
8-Q5：卒業時の学位は何ですか？	11
8-Q6：卒業後、ゲートウェイカレッジ卒業と履歴書などに記載できるのですか？	11
9. 外国人留学生・国際性について	
9-Q1：外国人留学生は出願できますか？	11
9-Q2：海外から出願する場合、渡日する必要はありますか？	11
9-Q3：日本人学生向けの英語授業、外国人留学生向けの日本語授業はどのような内容を実施しますか？	12
10. 準備・対策について	
10-Q1：出願にあたり、入学前にどのような学修をすることが望まれていますか？	12
10-Q2：過去問はありますか？	12
11. その他	
11-Q1：経済支援制度はありますか？	12
11-Q2：国際混住寮への入居は必須ですか？	13
11-Q3：詳細情報はどこで確認できますか？	13

1. 基本情報

1-Q1: ゲートウェイカレッジとは何ですか？

1-A1：東北大学が2027年4月に新設する学士課程における教育プログラムです。選抜時、入学時に専門分野（学部）を決めず、多様な分野を幅広く学んだ上で3年次以降に専門分野を選択する「レイトスペシャリゼーション」を導入しています。世界に開かれた教育環境で、国際卓越研究大学に認定された東北大学ならではの「世界の第一線に触れながら学ぶ」教育を提供します。入学者は、国際共修環境の中で留学生とともに、英語で学びます。ゲートウェイカレッジは、それ自体が特定の学部ではなく、特別教育プログラムです。入学直後は東北大学の全学組織に所属し、3年次以降に専門分野を選択、最終的には学部所属し、卒業します。

1-Q2：ゲートウェイカレッジは学部ではなく特別教育プログラムとのことですが、特別教育プログラムとは学部と何が異なっているのですか？

1-A2：これまでの学部教育では、入学から卒業まで一貫して、自分の希望する専門分野を学ぶために、ある学部を志願して、そこで専門の教育を受け、専門分野に係る研究を深化してきました。

しかしながら、現在、世界的な課題となっているもの、例えば大規模災害や環境問題やSDGs、紛争や対立、経済問題などは複合的な要素を多分に含んでおり、その解決にあたっては、これまでの学部教育で培ってきた専門的な知識の教授・研究の遂行能力だけではなく、物事を複眼的に考え、創造的な思考・イノベーション能力を持ち、多様なバックグラウンドを持つ人材と協働して自ら挑戦心を持って立ち向かうことが必要です。

東北大学は、「国際卓越研究大学」という世界トップレベルの研究を行い、その成果を社会や経済に還元できる大学として国に認められました。この使命を果たすため、東北大学ゲートウェイカレッジは、様々な世界的な課題の解決にリーダーとして立ち向かう人材を輩出することを目的とした、学部横断的な、新しい学部教育の拠点たる教育プログラムとして創設されます。

既存の学部との大きな違いは、次のとおりです。

- ①入学時点で専門分野（学部）を定めず、様々な教養を学びます。これにより、専門だけにとらわれず、複眼的に物事を捉え、考える力を養います。

②学生は幅広い分野の科目から主体的に選択して、自らの適性を見極め、所属を希望する専門分野（学部）を決定します。

③世界で活躍するため、様々な国から来る留学生と共修し、多様な文化・バックグラウンド・価値観などを理解し尊重するとともに、卒業まで英語で学び、ディスカッションを中心とした授業を通して英語で考える力を身に付けます。

なお、具体的なカリキュラムなどは東北大学ゲートウェイカレッジのウェブサイト（<https://tu-gwc.tohoku.ac.jp/>）や2026年6月公表予定の「令和9年度入学者選抜要項」でお知らせします。

1-Q3: なぜ新しい学士課程プログラムを作るのですか？

1-A3：急速に変化する社会に対応できる人材を育成するためです。従来の入学者選抜制度では出願時点で専門分野（学部）を決める必要がありましたが、ゲートウェイカレッジでは多くの分野に触れることで自分に合った進路を選ぶことに加え、国際共修環境をさらに整備し、多彩なバックグラウンドを持つ学生が共に学ぶことで、多様な考え方に触れる機会を提供します。これにより、柔軟な思考力と国際性を備えた人材の養成を目指します。

1-Q4: 4月入学と10月入学の違いは何ですか？

1-A4：4月入学（第1期）は主に日本の教育制度に合わせた入学時期であり、10月入学（第2期）は海外の教育制度に合わせた入学時期で、英語での選抜が中心となります。選抜方法や出願要件も異なります。4月入学者は入学後に英語能力の向上を図る授業を中心に履修し、10月以降は、4月入学者と10月入学者がともに学ぶ国際共修環境のもとで学修を進めます。

1-Q5：3年次以降に各学部 to 所属するとのことですが、3年次以降は各学部の学生と一緒に学ぶことになるのですか？

1-A5：学生は入学した後、ゲートウェイカレッジで学び、3年次以降の所定の時期から各学部 to 所属します。しかし、ゲートウェイカレッジの学生は入学から卒業まで一貫してゲートウェイカレッジの学生用の英語で学ぶカリキュラムで学びます。（一部、研究を進めるにあたり必要な場合は日本語を用いることもあります）

なお、3年次以降の各学部にも所属した後も、学部で閉じた教育とするのではなく、引き続き学部横断型の授業（実験・演習など）の実施を検討しています。

2. 募集人員・定員

2-Q1: 募集人員は何名ですか？

2-A1：募集人員は合計 178 名です。内訳は 4 月入学（第 1 期）が 88 名、10 月入学（第 2 期）が 90 名です。正式には 2026 年 6 月公表予定の「令和 9 年度入学者選抜要項」で確定します。

2-Q2: 大学全体の入学定員は増えるのですか？

2-A2：いいえ、大学全体の入学定員総数は変わりません。そのため、ゲートウェイカレッジの設置に伴い、既存学部の一般選抜や AO 入試（総合型選抜）の募集人員を見直し、調整しています。

2-Q3：文系・理系などで募集人数はどのようになるのですか？

2-A3：第 1 期（4 月募集）は文系 17 名程度・理系 71 名程度（計 88 名程度）、第 2 期（10 月募集）は文系 17 名程度・理系 73 名程度（計 90 名程度）を基準とする予定です。正確には東北大学ゲートウェイカレッジのウェブサイト

（<https://tu-gwc.tohoku.ac.jp/>）や 2026 年 6 月公表予定の「令和 9 年度入学者選抜要項」でお知らせします。

3. 出願資格・要件

3-Q1: 出願資格はどのようなものですか？

3-A1：日本国内外の高等学校等の卒業者（見込み含む）や、国際バカロレア、アビトゥア、フランス・バカロレア、GCE A レベル、国際 A レベル、欧州バカロレアなどの国際的な大学入学資格試験の合格者（見込み含む）が対象です。詳細は 2026 年 6 月公表予定の「令和 9 年度入学者選抜要項」を確認してください。

3-Q2：国籍による制限はありますか？

3-A2：いいえ、国籍による制限はありません。日本人学生も留学生も同じ条件で出願できます。また、日本の学校教育歴の有無も問いません。詳細は 2026 年 6 月公表予定の「令和 9 年度入学者選抜要項」を確認してください。

3-Q3：学業成績の要件はありますか？

3-A3：4 月入学では、日本の高等学校等出身者は調査書の学習成績概評が「A 段階」（5 段階評価で 4.3 以上）に属する必要があります。海外の高等学校等出身者は同等の学業成績が求められます。国際的な大学入学資格試験については、それぞれの試験成績に関する基準が設けられる予定です。詳細は 2026 年 6 月公表予定の「令和 9 年度入学者選抜要項」を確認してください。

3-Q4: 英語能力の要件はありますか？

3-A4：4 月入学では入学後の円滑な学修のために望ましい英語能力の基準が示される可能性があります。10 月入学では東北大学が指定する英語能力検定試験のスコア提出が求められます。具体的な基準は 2026 年 6 月公表予定の「令和 9 年度入学者選抜要項」で確認してください。

3-Q5: 10 月入学で日本語能力は必要ですか？

3-A5：人文・社会科学系の専門分野を希望する場合、研究分野によっては日本語での研究遂行やコミュニケーションが必要となる場合があるため、一定の日本語能力が求められる可能性があります。理工系・生命科学系の専門分野を希望する場合は、基本的に日本語能力は必須ではありません。なお、入学後は、希望する専門分野（学部）にかかわらず、すべての学生を対象に日本語を学ぶ機会が提供されます。具体的な基準は、詳細は 2026 年 6 月公表予定の「令和 9 年度入学者選抜要項」で確認してください。

4. 選抜方法

4-Q1: 募集は学部ごとに行われますか？

4-A1：いいえ、ゲートウェイカレッジでは学部・系/学科/専攻別によらない選抜を新たに導入します。従来の入学者選抜のように出願時に学部を選択する必要はなく、入学後に幅広い学問分野を学んだ上で、自分の適性や関心に合わせて専門分野を選択します。

4-Q2：選抜方法はどのようなものですか？

4-A2：

- ・4月入学：第1次選考（筆記試験）と第2次選考（面接試験）の2段階選抜です。大学入学共通テストは課されません。
- ・10月入学：書類審査、英語での筆記試験、英語での面接試験が実施されます。海外在住の出願者に対して試験のために渡日を求めることはありません。詳細は2026年6月公表予定の「令和9年度入学者選抜要項」で確認してください。

4-Q3：4月入学の筆記試験の内容はどのようなものですか？

4-A3：具体的な内容は2026年6月公表予定の「令和9年度入学者選抜要項」で発表されます。「異なる学問分野を横断的に学ぶ力」や「柔軟な発想力」などを評価する内容となる予定です。文章の読解力や表現力、問題の発見・分析能力と総合的な思考力を測る問題の出題を検討しています。

4-Q4：出願書類にはどのようなものが必要ですか？

4-A4：高等学校等の教科成績のほか、4月入学では学校内外の様々な学習成果や活動実績、資格等の関係書類、10月入学では国際的な大学入学資格試験や英語能力検定試験のスコアなどが求められます。詳細は2026年6月公表予定の「令和9年度入学者選抜要項」で確認してください。

4-Q5: 面接試験ではどのようなことが評価されますか？

4-A5：主体的な学習意欲や協調性、学問に対する好奇心、多様な人々との協働力や課題解決への意欲、豊かな人間性とコミュニケーション能力などが評価されま

す。なお、英語で学ぶプログラムであることから、4月・10月いずれの入学者においても、英語でのコミュニケーション能力が評価の対象となる予定です。詳しくは2026年6月公表予定の「令和9年度入学者選抜要項」で確認してください。

5. 選抜スケジュール

5-Q1：選抜はいつ行われますか？

5-A1：2027年度選抜では、以下のとおり予定しています。

- ・4月入学（第1期）：2026年11月までに選抜を実施し、同年12月までの合格者発表を予定しています。

- ・10月入学（第2期）：2027年3月までに選抜を実施し、同年4月までの合格者発表を予定しています。

詳細な選抜スケジュールは2026年6月公表予定の「令和9年度入学者選抜要項」で確認してください。

6. 併願について

6-Q1：東北大学の他の入学者選抜と併願できますか？

6-A1：東北大学の一般選抜・総合型選抜・特別選抜との併願は可能です。ただし、同日程で実施される入学者選抜との併願はできません。具体的な日程は2026年6月公表予定の「令和9年度入学者選抜要項」で確認してください。

6-Q2：4月入学と10月入学の両方に出願できますか？

6-A2：いいえ、4月入学（第1期）と10月入学（第2期）の両方に出願することはできません。いずれか一方のみ出願可能です。

6-Q3：他大学との併願は可能ですか？

6-A3：4月入学（第1期）では、「合格した場合には必ず入学することを確約できる者」という要件があるため、合格した場合は入学していただく必要があります。

10月入学（第2期）については、詳細は2026年6月公表予定の「令和9年度入学者選抜要項」で確認してください。

7.入学前教育について

7-Q1：入学前教育とは何をするのですか？

7-A1：入学後に英語で授業を行いますので、それに向けた下準備として、英語で学ぶため英語力を磨く予定です。特に、4月入学の場合は、10月から外国人留学生との共修環境となりますので、そのためにも入学前から英語で学び、コミュニケーションを図ることができるような準備が必要です。

7-Q2：入学前教育は必須ですか？

7-A2：入学後の学修を円滑にさせていただくためのものですので、入学者選抜に合格した方には、原則として参加いただくことを前提としています。

7-Q3：遠方なのですが、入学前教育を受講するのに東北大学に来る必要はありますか？

7-A3：オンラインをベースに検討していますが、来学が必要なケースもあるかもしれません。その場合は、高等学校等の学事暦や遠方に住んでいる等の事情を考慮してお知らせします。

8.入学後の学修について

8-Q1：入学後はどのように学びますか？

8-A1：

- 自身の希望も考慮に入れながら、幅広い教養教育と分野横断的な基礎教育を受講します。初年次から高年次の専門科目に至るまで英語で学び、英語で表現・議論する力を養います。外国人留学生には「日本を学ぶ」ために必要な日本語能力を伸ばす授業を提供します。興味や関心に応じて、高年次（3年次以降の所定の時期）に専攻分野を決定します。専門性や研究能力も身につけながら、国内外への大学院進学を見据えます。

- 特徴：柔軟な進路選択を可能とするカリキュラムを備えるほか、日本人学生と外国人留学生が共に学ぶ国際共修環境を有しています。また、国際混住寮での生活を必須とし、生活面でも国際的な環境に浸ることができます。さらに、海外経験

やフィールドワーク、課題解決型授業など、実践的な学びの機会も充実しています。

8-Q2：レイトスペシャリゼーションとありますが、各学部にはどのように配属されるのでしょうか？

8-A2：現時点で詳細は未定ですが、可能な限り、学生の皆さんの関心・希望に沿ったかたちで決定することを想定しています。また、相談体制も整えます。

詳しくはゲートウェイカレッジウェブサイト (<https://tu-gwc.tohoku.ac.jp/>) や入学時に配付する学生便覧、入学後のオリエンテーションなどでお知らせします。

8-Q3：入学後の専門分野はどのように決まりますか？また、各学部には何人ずつ行けるのですか？

8-A3：ゲートウェイカレッジは入学後に専門分野を決定するカリキュラムを採用しています。1・2年次に幅広い学問分野に触れた後、3年次以降に自分の適性や関心に合わせて専門分野を選択します。8-A2にもありますように、学生皆さんの希望を実現できるような専門分野決定の仕組みを整えます。

なお、現時点で想定している専門分野（学部）の受入規模は以下のとおりです。今後変更する可能性があります。

文学部：12名程度

教育学部：6名程度

法学部：8名程度

経済学部：8名程度

理学部：34名程度

薬学部（4年課程）：5名程度

工学部：89名程度

農学部：16名程度

具体的な決定方法や時期については、東北大学ゲートウェイカレッジのウェブサイト (<https://tu-gwc.tohoku.ac.jp/>) で最新情報を確認してください。

8-Q4：医学部・歯学部での学びは可能ですか？

8-A4：ゲートウェイカレッジの所定の科目を履修した学生が医学部医学科または歯学部の通常課程に異動できるような仕組みを検討中です。人数は極めて少数の見込みですが、詳細は決定次第、東北大学ゲートウェイカレッジのウェブサイト (<https://tu-gwc.tohoku.ac.jp/>) でお知らせします。

8-Q5：卒業時の学位は何ですか？

8-A5：卒業時には選択した専門分野の名称を付記した学士号（例：学士（文学）、学士（理学）など）が授与されます。

8-Q6：卒業後、ゲートウェイカレッジ卒業と履歴書などに記載できるのですか？

8-A6：ゲートウェイカレッジは学部ではなく教育プログラムです。学位は各学部が定めるもの（学士（文学）、学士（理学）など）となります。そのため、履歴書上は「東北大学○○学部卒業」となります。

一方で、ゲートウェイカレッジに入学した学生は、ゲートウェイカレッジのプログラムを修了したことにもなりますので、「東北大学ゲートウェイカレッジのプログラムを修了」したことを併記することができます。このことについては、学位記等への併記についても検討中です。

9. 外国人留学生・国際性について

9-Q1：外国人留学生は出願できますか？

9-A1：はい。国籍や教育歴に制限はなく、外国人留学生にも広く門戸を開いています。ゲートウェイカレッジは、日本人学生と外国人留学生が「共に学ぶ国際共修環境」を重視しており、多様な文化的背景を持つ学生が互いに切磋琢磨する場を提供します。

9-Q2：海外から出願する場合、渡日する必要はありますか？

9-A2：10月入学（第2期）の選抜は、出願から合格発表まで渡日せずに受験できる仕組みを検討しています。詳しくは2026年6月公表予定の「令和9年度入学者選抜要項」を確認してください。

9-Q3：日本人学生向けの英語授業、外国人留学生向けの日本語授業はどのような内容を実施しますか？

9-A3：日本人学生を中心に、海外の学生や研究者と専門的な議論を英語で不自由なく行えるための能力向上を目指す授業を開講します。いわゆる「英語 4 技能」だけではなくプレゼンテーション能力の向上も図ります。

外国人留学生には日本語科目を設置して日本社会での生活や研究活動に円滑に適応できるように支援します。

10. 準備・対策について

10-Q1：出願にあたり、入学前にどのような学修をすることが望まれていますか？

10-A1：ゲートウェイカレッジの入学者には、国際共修環境の中で留学生とともに、英語で学ぶことや、自身の希望も考慮に入れながら、幅広い教養教育と分野横断的な基礎教育を受講することを踏まえ、幅広い学問分野への関心や多様な視点からの思考力、グローバルな視点を養うことが求められます。したがって、以下のようなことに取り組むことをお勧めします。

- ・高校での学習に加え、様々な学問分野に触れる読書やボランティア活動など、自身の視野を広げること
- ・入学後の国際共修環境での学びに備えた英語力の向上・国際的な課題や問題についてアンテナを張り、自ら考えること

10-Q2：過去問はありますか？

10-A2：2027 年度が初めての入学者選抜となるため過去問はありません。

11. その他

11-Q1：経済支援制度はありますか？

11-A1：経済的に困難な状況にある方でも入学ができるように、入学料や授業料の免除制度のほか独自の奨学金の創設を検討しています。決定し次第東北大学ゲ

ートウェイカレッジのウェブサイト (<https://tu-gwc.tohoku.ac.jp/>) でお知らせします。

11-Q2 : 国際混住寮への入居は必須ですか？

11-A2 : 生活の場でも国際共修環境に浸ることを目的として、原則として、入学後 1 年間は本学国際混住寮への入居を求めます。ただし、個々の事情に応じた配慮も検討しています。詳細は決定し次第、東北大学ゲートウェイカレッジのウェブサイト (<https://tu-gwc.tohoku.ac.jp/>) でお知らせします。

11-Q3 : 詳細情報はどこで確認できますか？

11-A3 : 東北大学アドミッション機構およびゲートウェイカレッジのウェブサイトで最新情報を公表します。「令和 9 年度入学者選抜要項」は 2026 年 6 月にアドミッション機構ウェブサイトで公開予定です。

- ・アドミッション機構ウェブサイト : <http://www.tnc.tohoku.ac.jp/>
- ・ゲートウェイカレッジウェブサイト公式ウェブサイト :
<https://tu-gwc.tohoku.ac.jp/>